

2018 年度中3数学年間予定表

期間	内容	
春～夏（1学期）	単元1：式の展開と因数分解	→計算や式変形関数
	単元2：平方根	
	単元3：二次方程式	
	単元4：二次関数	
夏（夏期講習）～秋（2学期半ば）	単元5：図形と相似	→図形と確率
	単元6：円の性質	
	単元7：三平方の定理	
	単元8：標本調査	
秋（2学期半ば）～冬（入試直前）	入試対策	
	過去の入試問題や模試の問題、今までのテキストを用いて復習と演習を繰り返します。	

- ・この表はあくまでも理想です。生徒の理解度や学校の進度によって変更する場合があります。
- ・単元1～4は内容的につながっているのをまとめています。
- ・単元5～7は図形、単元8は確率の分野として授業を進めます。
- ・レギュラー授業は週1回、120分です。春季講習、夏期講習、冬期講習などの日程は年度ごとに異なりますが1回あたりの授業時間が120分であることに変わりはありません。



数学について

～義務教育～

義務教育での数学は単純な足し算や掛け算などの四則演算がメインですが、中学校までで培う学力は高校での授業では言うまでもなく、社会に出てからもその学力に基づく思考力として役に立つと思われます。

～勉強法～

基本的には授業の予習、復習となります。重要なのは問題を解いた量ではなく、一つ一つの問題をどれだけ大切に扱うか、つまり質です。もちろん中学校の勉強において色々な問題をたくさんこなすことは有意義ですが、一つの問題を大切にし、その問題を繰り返し解く事の方がより重要です。



授業について

授業ではまず先に単元ごとの概論を説明します。その際中学校では扱わないが、一度聞いておいた方が理解しやすいと思われる内容についてもなるべく生徒たちが理解できるようにして軽く触れます。説明後はそのままテキストの問題で演習をして各自わからないところを質問する、ということ

繰り返しています。もちろん1度の説明で全てを理解することは不可能なので次の授業のときや新しい問題に取り組む際に必要に応じて繰り返し定義などを説明しています。生徒がくどいと思うくらいに繰り返すことに意味があります。



宿題について

恐らく他の塾に比べると多い方だと思います。多い理由としては、単純に中学校の内容は簡単が故に生徒たちが軽視してしまう恐れがあり、これを避けるためです。また一般に自主学習として何をすれば良いのかわからない生徒が多いのが現状です。よって宿題をさせることで自然と定着することを狙いとしています。そのためご家庭での学習で別に他の数学の問題集などを解かずとも授業の予習、復習で済むようにと宿題を出すように心がけています。理想は塾で扱っているテキストの見開き1ページを毎日行うことです。学習時間としては毎日1時間弱を想定しています(実際は1週間で見開き3~5ページとなっているので、個人差はありますが1日30分程度かと思われます)。



授業での約束

授業ではいくつかの約束事を設けています。

1. 遅刻をしない
2. 宿題を忘れない
3. テキストや筆箱などの勉強道具を忘れない
4. 授業中に携帯電話やスマートフォンをさわったり鳴らしたりしない
5. その他基本的な礼儀を守る

以上のように約束事と言っても当たり前のことです。基本的なマナーなどについて守ることは集団生活では必須であり、生徒の将来のためでもあると考えておりますので、守れない場合は必要に応じて叱ります。生徒が問題を解けない、内容を理解できないなどで叱ることはありません。内容を理解させ、問題を解けるようにするのが私の責務と思い授業に取り組んでおります。



気をつけていること

これはどの科目にも通じることだと思いますが、集中してやることが大切です。塾では生徒たちと冗談も交えながら授業を進めていますが、問題を解くときは集中するようにしています。例えば問題を解く際に時間を計るのもこの一環です。ご家庭での自主学習でも集中できるようにしてあげるのが一番の手助けだと考えております。

以上の点を踏まえて中3数学を担当しております。今後ともよろしくお願い致します。

敬具